



# 令和4年度八尾市産業振興会議 第2回本体会議

2022/9/16

# 次第

## 1. 開会

## 2. 議事

(1) チェックイン 10分

(2) 八尾市の産業振興について 10分

(3) ワーク1: 前回アイデアをグルーピング 50分

(4) ワーク2: 基本プロセスを考える 40分

(5) その他 10分

## 3. 閉会

### 配布資料

・次第

・八尾市産業振興会議第2回本体会議【資料1】







# チェックイン



# 八尾市の産業振興について



# 八尾市の産業振興施策

- 中小企業サポートセンター事業 ・医療・介護機器分野参入促進事業
- 八尾ものづくりカレッジ ・土地情報提供サービス ・中小企業者融資制度
- 意欲ある事業者経営・技術支援補助金 ・八尾市ものづくり集積促進奨励金
- 八尾あきんど起業塾 ・やお創業ゆるっとカフェ ・インキュベートルーム
- 八尾ものづくりnet. ・ビジネスチャンス発掘フェア ・環山楼塾
- 八尾あきんどOn-Doネット ・やお産業情報ポータル
- 八尾市無料職業紹介所 ・八尾市おしごとナビ ・地域企業情報発信コンテンツ作成・運営業務
- 八尾市中小企業地域経済振興功績者表彰 ・デザインイノベーション推進事業

# 令和4年度八尾市の産業振興に関する連携協定先

- Forbes JAPAN SMALL GIANTS
- (株)カヤックおよび大阪信用金庫
- akippa(株)

# Forbes Japan SMALL GIANTSとの やお糠床モデル実践プロジェクト

## 連携事項

1. イノベーターを育む土壌づくり（糠床）
2. 地域経済循環の見える化
3. 働くことへの意義や楽しさを伝える
4. 新たな価値創造を誘発するプロジェクト

## 具体的内容

1. Forbes WEB記事企画への市長の出演
2. 八尾市内のイノベーターの取材候補の推薦
3. 八尾市からのご寄稿記事のスモジャイサイト掲載（年間3本程度）
4. 商品開発新事業の取材候補のご推薦
5. 産業連携協定の締結

# 八尾市×(株)カヤック×大阪信金との産業連携協定

八尾市・カヤック・大阪信用金庫の3社協定

[目的]

八尾市の産業振興の発展、事業承継、創業支援、商店街活性化など地域産業の根本的な課題解決を行う。



そのツールの一つとして



**まちのコイン** → 八尾

を使って実証実験！



**まちのコイン** とは・・・

「まちのコイン」は、地域のコミュニティとの繋がりを促進する、仲間づくりのためのコミュニティ通貨サービスです。

通貨を活用することで、地域内外の人のつながりをつくり、良好な地域コミュニティ形成が期待できます。

アプリに登録すると貰えるいろいろな地域のコインを参加スポットが用意した【お金で買えない特別な体験】につかえたり、ちょっとしたお手伝いをするとコインがもらえます。



# 八尾市×(株)カヤック×大阪信金との産業連携協定

- まちのコインを活用したコミュニティ活動への参画促進及び見える化
- 企業ブランディング創出に向けたプロジェクト
- 事業承継や創業支援を促進する仕組みづくり
- 地域活性化に向けた事業者への新たなチャレンジを後押しするプロジェクト
- 子どもたちの参画による未来のアトツギやベンチャー育成に向けた土壌づくり
- 地域活性化に向けた前号(1)から(5)までの実証実験
- その他、産業振興となる新たな価値創造に向けて必要となるプロジェクト

# 八尾の まちのコイン

# “やおやおお”



## まちのコイン



iPhoneの方



Androidの方



# 「akippa株式会社と八尾市によるシェアリングエコノミーの促進・にぎわい創出プロジェクト」

## 連携事項

1. シェアリングによる新たな価値創造の誘発
2. 農商工連携による地域のにぎわい創出
3. 地域内外への発信によるブランド強化と関係人口増加



## 具体的内容

1. 駐車場シェアリングサービス「akippa」を活用した、遊休スペースの有効活用をはじめとする地域のシェアリングエコノミーの促進
2. 移動販売支援サービス「akippaマルシェ」等を活用した、農業・商業・工業者の連携による取り組み創出や市民との交流促進
3. akippa株式会社の広報ツールやネットワークを活用した地域内外への情報発信による、八尾市の認知度・魅力の向上および集客力の強化





# ワーク① 前回の意見をグルーピング

# 前回 第1回本体会議での委員意見

- 縁側や銭湯のようなカテゴリーの違う人が出会って話ができる空間が必要である。  
「みせるばやお」は、そのような空間を提供できる場であり、そこで糠床モデルの実験や実践をすることが出来れば、さらに発展すると考える。
- 各地域のコミュニティが横のつながりが無いので、これをつないでいかなければならない。
- みせるばやおを活用して、様々なコミュニティの連携を進めていく。
- 単発で終わらない仕組みづくりが大事である。
- 番頭や書き取り役を人類学で「エスノグラファー」と言い、そういった考え方も取り入れながら、いろいろな実験に取り組んでいく。

# 前回 第1回本体会議での委員意見

- 少しゆとりが出た方、例えば60歳以上の方などを巻き込んで、その方からアドバイスをもらうような仕組みづくりを作っても面白い。**おせっかいする人を集める場を作る。**
- 次世代を担う**子供たちがチャレンジすることを応援する町**にしていきたい。子供たちを学校だけに任せるのではなく、**企業や地域で育てていく観点が必要**である。
- 今回、校長先生が委員にいらっしゃるのは、横のつながりを持てるという意味で心強い。
- 委員も含めて糠床を体験したことがない方が多いと思う。実際にやってみると、今後の議論にも役に立つ気がするので、お勧めする。



# 前回 第1回本体会議での委員意見

- 2025年の万博に向けて、**八尾空港を活用したイベント等**が出来たら良い。
- 八尾市はものづくり企業が多いのが特色である。ものづくり企業へ子どもたちを連れていく工場見学の実施、街コンのようなイベントの実施など**特色のあるイベント**が考えられる。これは農地でも可能である。町全体でこのようなイベントが出来たら面白い。
- 市役所の中にも糠床モデルを導入してはどうか。
- **行政が抱える課題とソーシャルビジネスをされている事業者がつながる仕組みづくり**をしても面白い。これは課題を糠床に入れるイメージである。

# 前回意見のキーワード

- カテゴリーの違う人が出会って話ができる空間   •みせるばやおの活用
- 単発で終わらない仕組みづくり   •おせっかいする人を集める場
- 行政の課題とソーシャルビジネス事業者のつながる仕組みづくり
- 子どもたちがチャレンジすることを応援するまち
- 子どもたちを企業や地域で育てていく   •コミュニティの連携
- 特色あるイベント   •農地の活用   •八尾空港を活用

# ワーク1: 前回意見のグルーピング

1. テーブルにある前回のキーワードを3つのカテゴリーに分ける、新しいアイデアがあれば追加もOK
2. カテゴリー分けした結果を全体に共有
3. 特に大事だと思うキーワードに一人4枚までシールを貼る



## ワーク1: 前回意見のグルーピング

- コミュニティ参加への支援
- 働くことの楽しさを伝えるためのコンテンツ制作
- 挑戦する人を育てるための情報発信



【提言】

### ① コミュニティ参加への支援

人と人のつながりにより地域の産業振興は支えられている。コミュニティ参加におけるメリットを「見える化」する。

### ② 働くことの楽しさを伝えるためのコンテンツ制作

地域で、八尾全体で、事業者とともに、子どもたちに働くことの意義、楽しさを伝える。

### ③ 挑戦する人を育てるための情報発信

「挑戦することがかっこいい。」こんな風土が八尾にはあるということをひとりひとりが情報発信する。

コミュニティ参加への支援

働くことの楽しさを伝えるためのコンテンツ制作

挑戦する人を育てるための情報発信





## ワーク② 基本プロセスを考える

# 実証実験の基本プロセス

1. アイデア提案: どのようなゴールを目指したいのか
2. 誰のどんな資源を活用する(≡協力をお願いするのか)のかを明確化
3. どのような流れでやっていくのか
4. それをやっていくうえで何が必要になるのか
5. めざしたい状態に近づいているかどうかを測る基準・目安をどう設定するか
6. どれくらいの期間で実施するのか

## ワーク2:基本プロセスを考える

- 1.先ほど分けたカテゴリーごとに分かれる
- 2.基本プロセスに基づいて、中身を考える
- 3.全体に共有





## 次回 第1回検討部会の候補日について





## 次回 第1回検討会議について

令和4年10月候補日

10月3日(月)、7日(金)

18時00分～20時00分

場所:八尾商工会議所